

平成25年度 自己評価書

学 校 名	和歌山市立伏虎中学校
校 長 氏 名	藤 本 禎 男
作 成 日	平成26年3月11日

1 教育目標

活気に満ちた伏虎中学校 ～美しく、仲良く、静かで、元気ある学校～

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点 目 標 P	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3小学校との連携により、小中一貫教育への準備を図る。 ・ 地域を学んだり、学校行事に地域の方々の参加を促したりする。 ・ 国際交流事業の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育のより一層の充実を図る。 ・ 生徒の心に響く「道徳の時間」を行うため、授業力の向上を図る。 ・ 生徒会を筆頭にあいさつ運動を励行する。 ・ 全員清掃できれいな学校を保持する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ・ 小・中連携により、英語を話せる生徒の育成を図る。 ・ 総合的な学習の時間の充実と系統化を図る。
取組 の 状 況 D	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4校交流会を開催するとともに、児童・生徒の交流を様々な学校行事で実施した。 ・ 学習発表会等で地域の方々を学校に招いた。 ・ リッチモンドが来校したとき歓迎会を開いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現職教育で、講師先生を招聘し、「道徳の時間」の授業を学習した。 ・ 朝のあいさつ運動は生徒会を中心に実施した。 ・ 全生徒と先生が協力し、掃除をした。保護者のペンキ塗りもした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の工夫・改善を図るように指導した。 ・ 全学年において、英語の授業を少人数で実施した。 ・ 学習発表会で、学んだことをプレゼンテーションした。
取評 組価 の結 果果 Cと 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写生会や部活動など、活発に交流を図ることができた。 ・ 学校行事が地域の方々にうまく伝わっていなかった。 ・ リッチモンド市等の人々を盛大に歓迎することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「道徳の時間」の確保とともに、授業の内容も改善する必要がある。 ・ 前・後期の生徒会の役員もあいさつ運動や清掃などよくできた。 ・ 教室・ろうかなどきれいにできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師主導による授業が多く、生徒の自主性が発揮できていなかった。 ・ 少人数にしたことで、大きな声でコミュニケーションができていた。 ・ 時間内に計画立てて、報告することができた。
次改 年善 度方 に法 向 A け て の	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度に向け、できるところから連携していく。 ・ 地域の人々へ広報する方法を改善する。 ・ リッチモンド市に訪問する年なので、英語力も身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心発問と補助発問、板書を徹底的に学習させる。 ・ 生徒会活動のよい伝統を継承していく。 ・ 学校教育目標でもある、美しい学校を維持するように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決型の授業やグループ学習などを取り入れていく。 ・ 少人数指導を維持し、コミュニケーション能力を高めていく。 ・ 学習発表会の内容をより一層充実させる。

3 その他の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒数が少ないことから教員数も少なく、そうしたことから免許外の教科を指導しなくてはいけない状況にある。 ・ 部活動においては、専門に指導できる教員がいない部がある。 ・ 外国語活動だけでなく、他の教科や小学校から中学校へ教科指導ができるような体制をつくってもらいたい。
--